

5 サロン「ハートすまいる」

サロン運営団体名称：ハートねっと日立市民の会

開催頻度、 開催日	月2回 第1・3火曜日 10:00～12:00
開催拠点	つどいの広場
主な参加対象者	障がいのある方、家族、地域住民誰でも参加可能
1回の参加人数 (参加者+協力者)	10名
参加費 (1人1回あたり)	無料
広報方法	チラシ、HP(随時)

日立市



開催地域の様子

- JR常陸多賀駅から徒歩5分の場所に位置した、道路に面した店舗を借りて活動しています。日中の人通りは多くはありませんが、口コミで利用する人が増えてきています。

主な活動内容

- 【コロナ禍前】
- シルバーリハビリ体操
- 【令和3年度より】
- 千羽鶴折(病院・施設に寄贈予定)(月1回)
 - 手作り品の制作(月1回)
 - お茶、おしゃべり

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 精神疾患のある人はどうしてもひきこもりがちになることが多く、本人にとっての居場所、また、家族にとっての居場所、相談窓口が欲しいと考えサロンを始めました。
- いろんな人との交流を通してみんなが前向きになれたら嬉しいです。

サロンのウリ

- 令和2年1月のサロンでは「新春のつどい」として近所の神社の社務所をお借りして宮司さんのお話、市民落語家(会員とお友達)の落語や長唄の発表をしました。地域ぐるみでの活動にみなさん喜んでいました。
- オープン参加型なので、通いすぐりに参加できます。

サロン運営上の協力者



- 日立市社会福祉協議会
- 日立市役所

運営費の確保方法



- 日立市社会福祉協議会からの助成金
- 参加者の方からの寄付（お茶、お茶菓子）

コロナ禍でのサロン活動・工夫点



- 声をあまり出さずにできる内容に変えました。
- 「マスクをしても笑顔を忘れない」ことを大切にしています。

助成金の活用によりパワーアップした活動



- 店内入口での検温、消毒を徹底することができました。

サロンをやってみて良かったこと

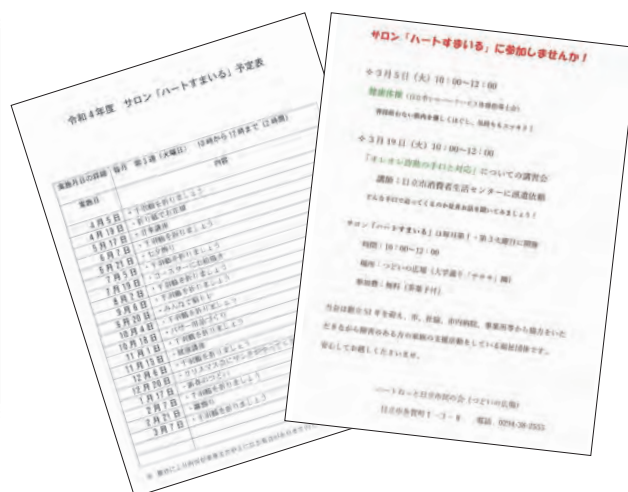


- 参加者に喜んでもらえること。
- 講師等を通して人とのつながりが広がったこと。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ



- あまり難しく考えず“楽しい！元気になる！”と思ったことをやってみてはどうでしょう。



はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

精神障害のある方の居場所として立ち上げ、今では、参加したい方は誰でも参加できる形にしておられ、とてもオープンな雰囲気です。

サロン会場の「つどいの広場」には地域の皆様からの寄贈品などで彩られており、みんなにとって居心地の良い場所になっています。



6 石岡中学校ミニサロン

サロン運営団体名称：石岡中学校ミニサロン

開催頻度、 開催日	月1回 第3火曜日 9:30～11:30
開催拠点	石岡中学校
主な参加対象者	65歳以上高齢者
1回の参加人数 (参加者+協力者)	15人
参加費 (1人1回あたり)	0円
広報方法	チラシ、広報誌(随時)

石岡市



開催地域の様子



- 旧来の住宅街と新興住宅が混在している地域です。また、商店や病院、会社等が散在しており、石岡中学校は市の中心部に位置していますが、新転入者が少なく高齢化が進展しています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像



- 地域の高齢化が進むとともに、地域住民同士の結びつきが希薄になっています。
- 地元中学校でのサロン活動を通して、学校や生徒達との交流、地域での助け合い活動を促進するとともに、高齢者の生きがい作りを目的に立ち上げました。将来的には参加者や活動人数を増やしていきたいです。

主な活動内容



- 高齢者の生きがいづくりや地域貢献活動を目的としています。
- 地元の中学校の校内の花壇整備や除草活動、教室等の清掃、参加者と教職員との茶話会などを行っています。
- 新型コロナウイルスの感染が終息した時には、参加者と生徒とのふれあい活動を積極的に行う予定です。

サロンのウリ



- 学校、社会福祉協議会、老人会、民生委員児童委員等がバックアップしてくれており、地域の交流拠点として機能する予定です。
- 将来を担う生徒たちを支援することも目的としており、高齢者が積極的に参加を表明しています。

サロン運営上の協力者



- 石岡市社会福祉協議会
- 東地区民生委員児童委員協議会

運営費の確保方法



- 将来的には参加者の会費制にしたいです。

コロナ禍でのサロン活動・工夫点



- 教室内での生徒とのふれあい活動ができないため、校舎外で環境整備を行っています。

助成金の活用によりパワーアップした活動



- 環境整備用物品や茶話会用茶菓子の購入など活動が楽しく活発に出来ました。

サロンをやってみて良かったこと



- 今まで知らなかった地域の方との交流ができました。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ



- 将来ある子ども達の成長にボランティアとして携われることはやりがいと生きがいになります。ぜひ参加してみてください。



はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

学校のボランティア活動と地域交流の場であるサロン活動が結びついた、とてもユニークな活動であると感じました。

今後参加者も増え、参加者同士の交流や、子どもたちとの交流など、活動の幅が広がっていくのではないかと感じました。



7 わいわい食堂

サロン運営団体名称：わいわい食堂

開催頻度、 開催日	月1回 第3土曜日 9:30～14:30
開催拠点	三笠まちづくりセンター
主な参加対象者	全ての人
1回の参加人数 (参加者+協力者)	40名～120名
参加費 (1人1回あたり)	子ども 100円(無料の時もあり) ※コロナ禍では無料にしている 大人 200円
広報方法	数カ所にポスター掲示(月1回)

鹿嶋市



開店2周年祭(2019年)

開催地域の様子

- 市の中心部で世帯数、子ども数とも市内では最も多い地域です。
- 会場となる公民館に隣接する小学校の生徒の内、特に低学年は9割以上が共働き世帯で、放課後の児童クラブ利用者は、常に満員状態。
- 公民館は、地域住民の運営への活発な参加もあり、子どもや地域の利用者が多く、国から「優良」表彰されました。

主な活動内容

- コロナ禍ではテイクアウトにしたり、食品の配布に切り替えています。
- 食堂の平常時には、遊びのコーナーを設けています。
- 計画的に工作やアイスクリーム作り等の活動を取り入れたり、ボランティアに依頼し、マジック、コンサート、こま回し等のイベントを企画しています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 数年前から「子どもの貧困」が言われるようになり、子ども食堂という形のサロンで微力ながら力になりたいと思いました。
- コロナ禍が収束したらメンバーの募集をしようと考えていますが、人生100年時代で、就労年数が長くなり、時間のある定年退職者が減り、若い人達も共働きが増え、ボランティア人口のじり貧の中、スタッフも確実に高齢化している現状で、できることをやっていくとしか言いようがありません。

サロンのウリ

- スタッフの多くは、以前からボランティアや社会的活動を積極的にやってきたので、これまで培ってきたノウハウや、ネットワークにより、協力者が多く、機動力もあります。
- 活動の中でのスタッフ同士でのコミュニケーションを楽しみに参加する方が多いです。

サロン運営上の協力者



- 定期的に役所や関連施設に出向いてお願いや相談をしたり、ポスター掲示を依頼しています。
- 会場となる公民館とは常に密に連絡を取り、運営について協力を得ています。
- 鹿嶋市社会福祉協議会、フードバンクからの協力とともに、情報や他の支援を得ています。

運営費の確保方法



- サロン立ち上げ時「大好きいばらき地方創成応援事業」活用・市の地域サロン活動助成金
- 利用料
- スーパーからの食材、農協や農家からの野菜等の寄付
- 個人からの寄付

コロナ禍でのサロン活動・工夫点



- 感染発生に備え、利用者の名簿記入。その都度ペンの消毒
- 屋外にて配付
- 不衛生なマイバック対策として、弁当は個包装にし、企業からのバックに食材は詰めて渡しました。
- 利用者が増えすぎたため、予約制にしたり、簡単でおいしいレシピを常に検索しています。

助成金の活用によりパワーアップした活動



- 食材をグレードアップしたり豊かにできました。
- 弁当の容器を強度の強いものにできました。

サロンをやってみて良かったこと・これからサロン活動を始める方へのメッセージ

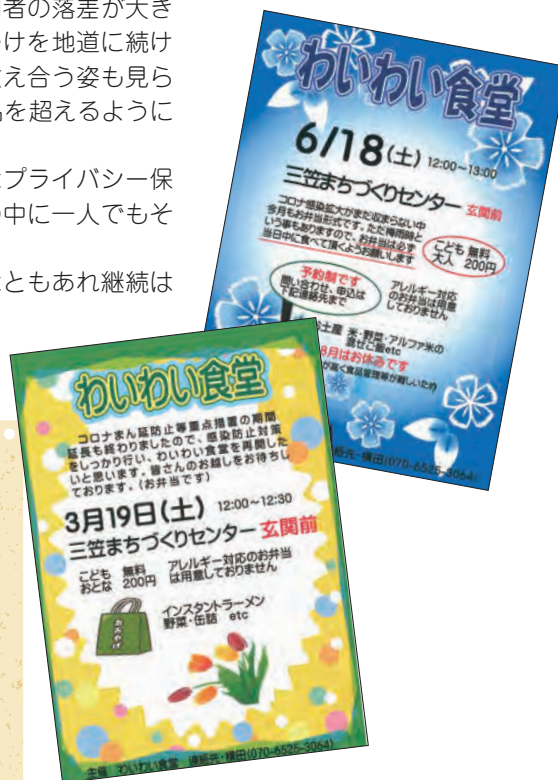


- 始めた頃は、特に子供の利用者が少なく、また月により利用者の落差が大きかったりと大変でしたが、活動を見直したり地域への働きかけを地道に続ける中、地域へ認知されていき、今では子ども同士で食堂を教え合う姿も見られるようになり、特に弁当のテイクアウトになったら100名を超えるようになり大変な状況です。
- 当初の設立目的である、困難を抱えた子ども達への手助けはプライバシー保護の関係からアプローチできていませんが、多数の利用者の中に一人でもそのような子がいればと願っています。
- 地域のコミュニケーションサロンとして育っています。何はともあれ継続は力です！

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

ボランティアの皆さんは、地域や人の役に立ちたいという同じ想いをもちながら、多くの人に必要とされ感謝されることにやりがいを感じながら、活動されている様子が伝わってきました。やりがいと楽しさの両輪で活動されていて、こちらにも元気をいただきました。

みんなが安心してくらす街づくりが、こうした暖かい地域の人たちに支えられ、輪が広がることの大切さを改めて感じました。



地域交流型サロン8

8 春日の森サロン

サロン運営団体名称：春日の森 NET

開催頻度、 開催日	月1回 主に第3日曜日 13:00 から 15:00 まで
開催拠点	椿亭（茨城県つくば市東平塚 598）
主な参加対象者	どなたでも（高齢者、子育て世代、大学生や子どもの参加もあります）
1回の参加人数 （参加者＋協力者）	10～20名
参加費 （1人1回あたり）	年間 1,000 円
広報方法	パンフレット、チラシ、ホームページ、 つくば市社会福祉協議会広報誌、回覧板、掲示板

つくば市



開催地域の様子

- 人口は 4,494 人（令和 4 年 8 月現在）。筑波大学が近隣にあり、学生の街でもあるが居住している住民は徐々に高齢化が進行しています。

主な活動内容

- 参加者が自由に交流できるよう、おしゃべりを中心に、農業体験や気功・手品などを取り入れて、幅広い年代が参加できる環境を目指しています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 地域住民の高齢化や、地域のつながりの希薄化を背景に、つくば市の生活支援体制整備事業の一環で、住民の交流促進を図ることを目的に、サロンを立ち上げました。会場となる地域の会館等がありませんでしたが、地域の方からのご厚意で元料亭として使われていた「椿亭」という建物をお借りすることができ、その場所を活用して地域の自治会、民生委員、行政機関、社会福祉協議会などと一緒に活動しています。
- 今後は椿亭の向かいにある古民家の整備を行いながら、幅広い年代がいつでも、だれでも集える憩いの場づくりの輪を今後広げていく予定。

サロンのウリ

- どなたでも参加しやすい気軽な雰囲気
- 四季折々の花に囲まれた、素敵なサロン会場
- 定期的にサロン以外のイベントも企画しています！（フリーマーケット、地域交流イベントなど）

サロン運営上の協力者



- 自治会、民生委員、つくば市社会福祉協議会から支援を戴き、活動も一緒に行っているのが非常に助かっています。

運営費の確保方法



- 個人負担の軽減を図るため、自治会や地域の方からの寄付及び各種助成金を活用しています。

コロナ禍でのサロン活動・工夫点



- ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用、手の消毒

助成金の活用によりパワーアップした活動



- 助成金の活用で、サロンの中で様々な活動ができるようになり、仲間づくりが進みました。ここでできた仲間たちと、古民家の整備・交流の場づくりも進めています。

サロンをやってみて良かったこと



- 参加者の健康状況が把握でき、地域の中での住民同士のつながりづくりが進みました。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ



- まず地域の中でだれでも気軽に集まれるような雰囲気をつくるのが大切だと思います。
- 活動拠点が無い場合、地域の中の空き家や空き店舗などを会場にするということも視野に入ると、活動が始めやすくなるかもしれません。



はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

多様な建物や広い敷地のある素晴らしい施設を会場としており、いろいろな活動の可能性が考えられることから大きな期待が持てます。特に、自然環境や土地の条件を活かし、自然と触れ合える活動を大切に運営されたら良いと思います。また、つくばには多彩な特技や知識を持った皆さんが住んでいることから、多くの方々の協力を受け入れ、ユニークな幅広い活動が行えるサロンとして親しまれることを期待します。



1 こども食堂・フレッシュ AMI

サロン運営団体名称：こども食堂・フレッシュ AMI

開催頻度、開催日	月1回 土曜日 12:00～17:00
開催拠点	阿見町かすみ公民館
主な参加対象者	1～18歳までの子どもと家族
1回の参加人数 (参加者+協力者)	56名
参加費 (1人1回あたり)	無料
広報方法	ポスター、チラシ、町広報誌、町民活動センター掲示(随時) 近隣小学校への説明



阿見町



開催地域の様子

- コロナ対策で公民館の利用人数制限があり、配布時間を長めに取っています。
- 公民館閉鎖中はドア外側での食材配布でつなげています。

主な活動内容

- 孤食の子ども、母子家庭、生活に困窮している方を主な対象に無料で食事と弁当を配布しています。
- 毎月1回、公民館の調理室で調理したお弁当を、同じ公民館で別実施されている無料塾(小学生～高校生対象、別団体実施)終了時間にあわせ配布しています。フリースペースで勉強している子どもにも無料で配布しています。
- 給食のない期間の増配希望があったので、夏休みに追加配布を行いました。好評だったので、予算が許す限りタイムリーな特別配布を追加していきたいです。
- 弁当を受け取りに来られない家庭には宅配で届けています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 明るい家庭作りに貢献する目的で設立し、イベント(料理教室、お菓子製作、世界の食事紹介)も計画通り進めています。
- 入場人数制限が解除された時は「保護者(祖父母)+こども」のペアでの参加が出来るイベントを考えています。

サロンのウリ

- スタッフ構成に恵まれ、食事はバランスを考えたメニューを提供しています。
- 宅配・祖父母への対象拡大等、来場者の希望に応えます。
- 古着のご希望に対応します。

サロン運営上の協力者



- 阿見町町民活動課
- 阿見町社会福祉課
- 阿見町社会福祉協議会
- 阿見町民活動センター
- 民生委員

運営費の確保方法



- スタッフ自己資金にて4月に立ち上げ、実情を理解してもらい「阿見町市民活動支援補助金」を受けました。
- 「むすびえ・こども食堂基金助成金」で月1回の食事配布は可能となりました。
- 特別配布、食材、飲料、菓子等は企業や個人からの寄付があります。

コロナ禍でのサロン活動・工夫点



- 調理の服装の他に、手指、設備の消毒の徹底
- 共食が出来ない時はテイクアウト弁当と食材配布で対応
- 換気、ソーシャルディスタンスの確保
- 家庭へのマスクや消毒ジェル配布
- スマホに「アマピエ」アプリ登録
- 暑い時は、スポーツドリンクや野菜ジュースの配布

助成金の活用によりパワーアップした活動



- 入室人数制限時に、スタッフ人数を減らして、子ども人数枠を作り、ケーキ製作教室を開催しました。
- 弁当配布では出来ない相互理解が深まりました。

サロンをやってみて良かったこと



- 信頼が出来たことで、ひとり親家庭、発達障がい、祖父母のかかわり、車が無い、等願い事を受ける環境が出来てきました。



これからサロン活動を始め方へのメッセージ



- ケーキ製作教室ではプロのパティシエに指導してもらいました。子供達は真剣に聞いていました。
- 入場人数制限で保護者はドアの外から見学でした。
- 雰囲気が入ったパティシエは、以後も無料で活動の支援を申し出てくれました。
- 活動内容を知ってもらい仲間を広げる努力が大切と思っています。

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

子どもたちの「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとう」の声が自然に出てくる社会性の育成をめざして取り組んでいる点が素敵だと思いました。多様な経験とノウハウを持ったメンバーが集結し、子どもを中心に地域生活を応援しようという意気込みを強く感じました。コロナ禍を超えて、信頼できると大人との出会いの機会をさらに広げていくことができるよう応援したいと思います。

